

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号) 企業・団体名 (株式会社甲信マツダ)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)		【予定】	・毎月の会議において店長研修をする等、マネジメント職者の教育体制を整えている ・社内倫理相談窓口やマツダ(株)人権相談窓口を設置し、相談しやすい環境を整備している ・【予定】LGBT教育を実施し、当社社員の理解促進を図る ・【予定】社内にLGBT担当者を設置し、専用相談窓口を設置する					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・ハラスメントに関する基本方針を社内イン트라へ開示し、全社員の啓発を行っている ・ハラスメント行為の禁止を就業規則に明記している ・社内倫理相談窓口、マツダ(株)人権相談窓口、マツダ(株)マツダグループ窓口、第三者窓口(法律事務所)の4つの相談窓口を設けている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・36協定を締結している ・車両洗車パートの採用や、業務のシステム化(RPA導入)を推進し、社員の業務の工数削減・負荷軽減を進めている ・勤怠システムによる出勤管理を行っている(60時間超の管理職に対しても是正勧告をしている)								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			・外国人労働者(技能実習生、留学生)を採用している ・休日・労働時間・賃金・住環境等、当社社員と同様の規定で雇用をしている				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・指定産業医同席のもと、安全衛生委員会を毎月開催している ・各店舗で安全衛生管理者を選任し、労働環境の整備に取り組んでいる ・労災事例を社内イントラで共有し、労働安全衛生の啓発を継続している			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・心の健康づくり計画を作成している ・メンタルヘルス研修を開催している(隔年) ・各自の状況を考慮した心のケアや、復職プランを整備している ・健康経営の取組みの1つとしてストレスチェックを実施し、指定産業医のカウンセリングを受けられる体制を整えている			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・高齢者、障がい者の雇用制度や、女性管理職の登用を推進し、多様な人材が活躍できる職場環境を提供している ・短時間勤務、繰り上げ勤務もあり、各自のライフスタイルに応じた多様な働き方ができるようサポートしている ・人事評価制度に則り、上司とキャリアミーティングを実施、各自のキャリアプランを明確にしている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			・人材育成プログラムに則り、経験年数や職種に応じた各種研修を開催している (新型車研修、サービスアドバイザー研修、入社1〜3年目研修、営業スキルアップ研修、部品担当者研修、保険勉強会等)				4	5.5			8	9								

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・人事評価制度で、経験年数・職種ごとに能力要件を定義し、公平な評価を実施している ・人事評価制度を改定し、全社員が正当に評価され、働きやすいと感じられる制度への変更を実施している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・健康経営に取組み「健康経営優良法人」認定をいただいている。また、全社に向け健康宣言を明文化している。 ・ソフトボール大会等、スポーツの推進を行っている ・インフルエンザ予防接種の補助金制度(健康保険組合)や健康スクリーニングの実施、人間ドック補助制度で、社員の健康増進に努めている ・アプリを活用したウォーキングイベント参加を促進している。 ・整備工場に空調設備の導入を進めている			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・エコアクション21に取り組んでいる ・廃棄物排出量を2030年度までに毎年1%削減する計画を策定している ・電子マニフェストによる管理を行っている											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・エコアクション21に取り組んでいる ・CO2使用量、排出量を把握し、適切に管理している ・2030年度までに毎年1%削減の計画を策定している						7.3						13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			・エコアクション21に取り組んでいる ・CO2使用量、排出量を把握し、適切に管理している ・2030年度までに毎年1%削減の計画を策定している ・アースアワー(WWF主催)、ライトダウンキャンペーン(環境省主催)に参加、温暖化対策に取り組んでいる						7.2 7.3					12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			・エコアクション21に取り組んでいる ・PRTR法対象物質を適切に管理し、出来る限り使用を抑えている ・SDS(安全データシート)を適切に使用している ・リスクアセスメント実施体制を整備し、潜在的な有害性やリスクを予測、低減活動を実施している			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・環境に配慮した商品(マツダ車)を販売し、燃料採掘からクルマの走行まで、クルマのライフサイクル全体でCO2の削減に取り組んでいる ・エコアクション21に取り組んでいる ・フロンガスの自主点検を実施している(3か月に1回) ・オイル流出事故に備え、油分散洗浄剤(OSD-500W)を各店舗に常備している ・油水分離槽の点検を実施している(月2回)						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・エコアクション21に取り組んでいる ・資源ごみの分別、エコキャップやクリアホルダー収集、裏紙の利用等、3Rを推進している ・下取車のリサイクルセンターでの適切な処理、車のリサイクル及び良質な中古車の販売を行っている												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・エコアクション21に取り組んでいる ・全社の上下水道の使用量を社内イントラで共有、また管理し、使用量削減等の計画を策定している						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			・エコアクション21(認証・登録番号0003906)を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		

[illegible]

[illegible]

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)		【予定】	・火災・爆発・破裂対応マニュアルを作成している ・全店舗の自然災害ハザードマップがある ・緊急事態避難訓練、消防訓練を実施している(年2回) ・【予定】BCP(事業継続計画)の作成を準備中である ・【予定】備蓄品の配備設置を予定している									9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			・代表者が変わっても、「理想の姿の実現のための会社運営」をして行くことを、「会社の社員に対する約束事」として社員に明示している。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組			具体的な取組			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地域スポーツの事業振興			・地元アスリートへの活動サポートとして、車両貸与サポートを行っている。(遠征移動、トレーニング機材輸送のサポート) ・信濃グランセローズスタッフ移動車両の貸与サポートをしている。 ・ポアルース長野フットサルクラブのアリーナスポンサー(ホームゲームでの資金提供)をしている。					3	4							11						

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定